

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業大学校費

事業名【新】農業大学校ウェブサイト制作・運用管理委託事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業大学校 教務課 電話番号：0574-62-1226

E-mail：c24405@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,958 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,958	0	0	0	0	0	0	0	1,958
決定額	1,958	0	0	0	0	0	0	0	1,958

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

就学人口が減少する中、農大の令和5年度の入学生は20名(定員30名)と大きく定員割れを起し、学生確保が喫緊の課題となっている。そこで、HPを用いて学生生活や学校の様子を積極的に発信する取り組みを進めているが、オープンキャンパスに参加した生徒の親からは「岐阜農大のHPは岐阜県のHP内にあり、大変見にくく、欲しい情報に辿りつくのが難しい」との意見をいただいている。

また、県立農林系3校による「県立農林系アカデミー・農業大学校運営向上プラン」が平成31年3月に策定され、学校の魅力発信（入口対策）において、両アカデミーのHP改修と農業大学校のHP新設を行うことになっているが、現時点で国際園芸アカデミー及び森林文化アカデミーは、独自HPを持ち、ブログやPR動画等を活用した情報発信を行っているが、農大は独自HPができていない。

そこで、農大も県HP外にHPを開設し、タイムリーな情報発信を行うことで学生募集につなげていくとともに、令和6年度には農大創立90周年を迎えることから卒業生やその家族にも積極的に情報発信を行う必要がある。

(2) 事業内容

- 1) 農業大学校のウェブサイト制作委託
- 2) 農業大学校のウェブサイト運用管理委託

(3) 県負担・補助率の考え方
県10/10

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,958	ホームページ制作 1,914千円 保守管理 44千円
合計	1,958	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・長期構想
Ⅱ－2 儲かる農業・林業・畜産業を実現し、持続可能な農山村をつくる
・農業の担い手を育成・確保する
- ・ぎふ農業・農村基本計画
第5章1 多様な担い手づくり
(7) 農業大学校・国際園芸アカデミーの人材育成機能の強化
- ・県立農林系アカデミー・農業大学校 運営向上プラン
3校で連携する取組み 1. 学校の魅力発信（入口対策）

(2) 国・他県の状況

- ・岐阜県を含む42道府県が農業大学校を設置

(3) 後年度の財政負担

- ・保守管理費 R7年度以降 77千円/年の負担が発生

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・事業主体（発注者）
農業大学校
- ・妥当性
「県立農林系アカデミー・農業大学校運営向上プラン（平成31年3月策定）」の策定の中で妥当性の議論がなされている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ホームページを利用して農業大学校の魅力を発信し、農業及び農業大学校への関心を高め、入学者の確保を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①入学者数	20	20	30	30	30	67%
②						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>入学者確保のため、入学希望者や一般の高校生に農業大学校の魅力を広く情報発信する必要がある。 農業大学校の現在のホームページは、県のホームページ上に構築されているため、デザインやコンテンツに制限がある他、高校生が使用するスマートフォンやSNSからの使い勝手が悪い。そのため、独自のウェブサイトの新設し、情報発信力を強化することにより、将来農業の担い手となる学生を確保する。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	/
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	/

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 農業大学校の主たる入学者である高校生を対象とした検索しやすい、見やすいホームページの作成が必要である。コンテンツの充実により、各種行事及び入試手続きの案内等を適時発信する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 入学者を確保するために、継続的に情報発信していく必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	